

お元気ですか

～全国各地の会員からのお便りを紹介します～ 【2017年5月】

第35回Jネット勉強会報告 —「前島密翁墓前祭」参加と猿島見—

藤沢 勝一郎

今回の勉強会は、平成29年4月22日(土)に行われ、Jネットからの参加会員は2名でした。当日は薄曇りで、暑くもなく寒くもないコンディションでした。

「前島密翁墓前祭」参加

墓前祭参加は4年連続で、Jネット勉強会としては5回目。私達2名は、式が始まる前に墓前にてお参りと記念撮影を済ませてしまいました。

式は例年どおり浄楽寺境内で行われ、上越市から、郵便局関係者、前島記念館館長、前島密翁を顕彰する会会員等20名が参加しました。参加者には、小冊子「前島密と横須賀」と参加者名簿が配られました。

最初に主催者「前島密翁を称える会」会長、横須賀市長と徳重雅之参議院議員は、郵便は離れている人と人とを結び上越と横須賀も結ぶと挨拶。続いて「前島密翁を顕彰する会」堀井会長が挨拶。しかし、上越市長が来られずおまけに祝賀メッセージ代読もなしとは、これいかに？

式後、参加者が250名と多数のため4回に分けて記念撮影。上越市からの参加者とJネット勉強会参加者は最初のグループ。この記念撮影後、バスで浄楽寺前から横須賀市民病院へ。ここでバスを乗り換えて京急「横須賀中央」駅へ。



「猿島」見学

「横須賀中央」駅から徒歩約15分。目の前に浮かぶ猿島は三笠桟橋から航程10分。

桟橋は行く人、帰って来る人で混雑している。上陸すると桟橋から広がる砂浜で、子供連れの家族がバーベキューをしていて、無人島からイメージするサバイバルな雰囲気はない。

しかし、舗装された散策路を5分も歩くと「切通し」の両側には、明治期に作られたレンガ積みの兵舎や弾薬庫などの遺構が並ぶなど雰囲気は一変する。この島はもともと陸海軍の要塞の島だったのを横須賀市が1990年代に公園として整備したのだ。

更に進むと長さ約90mのレンガ造りのトンネルがあり、中には旧軍の司令部跡や弾薬庫が置かれていた。現在は“愛のトンネル”とも呼ばれている。そのトンネルを抜けると、数箇所の砲台跡や広場がある。そこから120段ほどの階段を下りると、潮まわりが良く魚種も豊富だというヨネノ根で3人が釣りをしていたが、釣果は不明である。この根の直ぐ傍に「日蓮洞窟」がある。

猿島の由来は、1253年5月、日蓮上人が房総から鎌倉へ渡る途中で嵐に遭い、船の進む方向さえ分からなくなり、近くの島へ避難したところ、一匹の白猿が現れ島の奥へ案内したと言う言い伝えから「猿島」という名がついたと言う。

